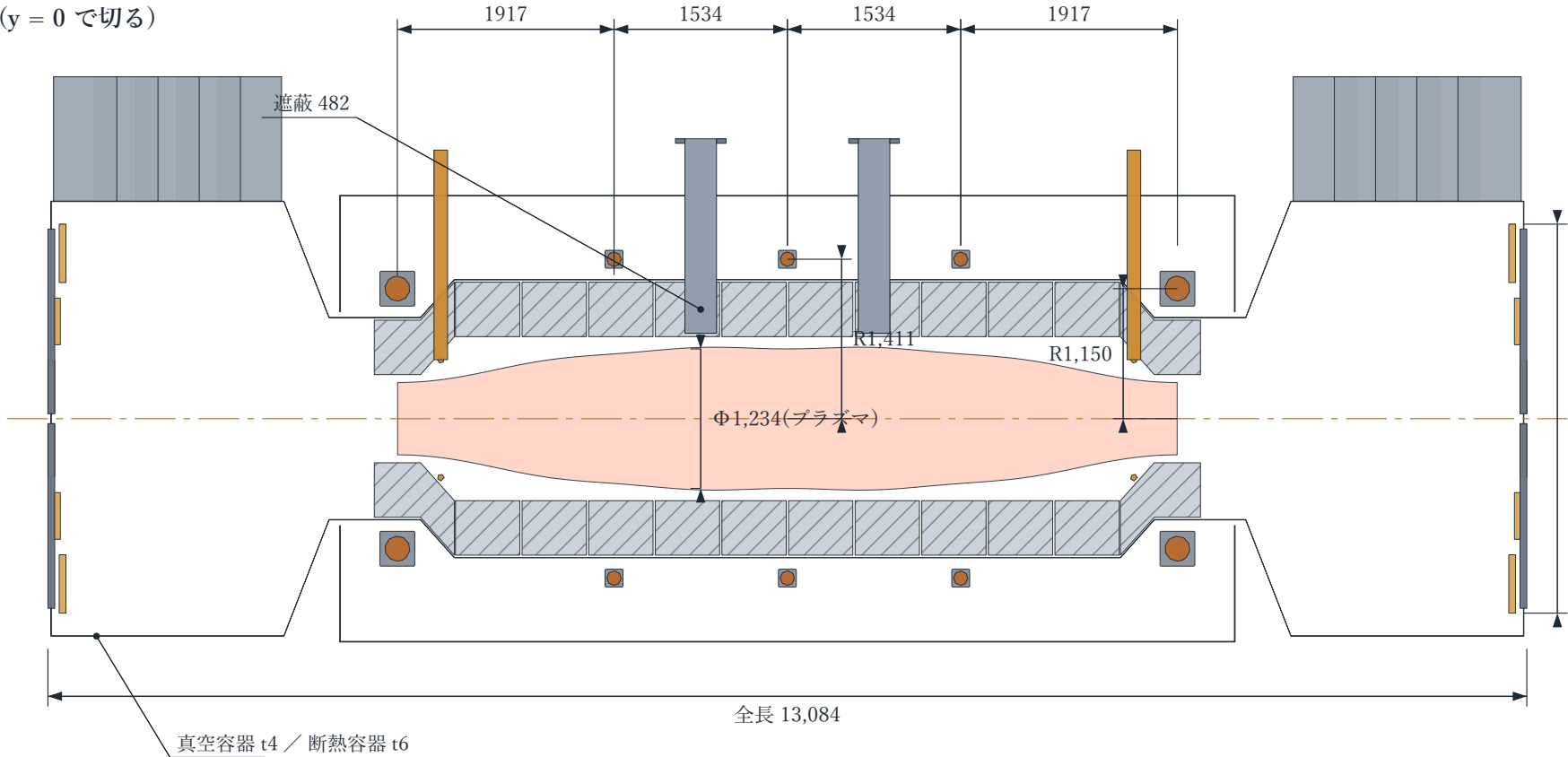
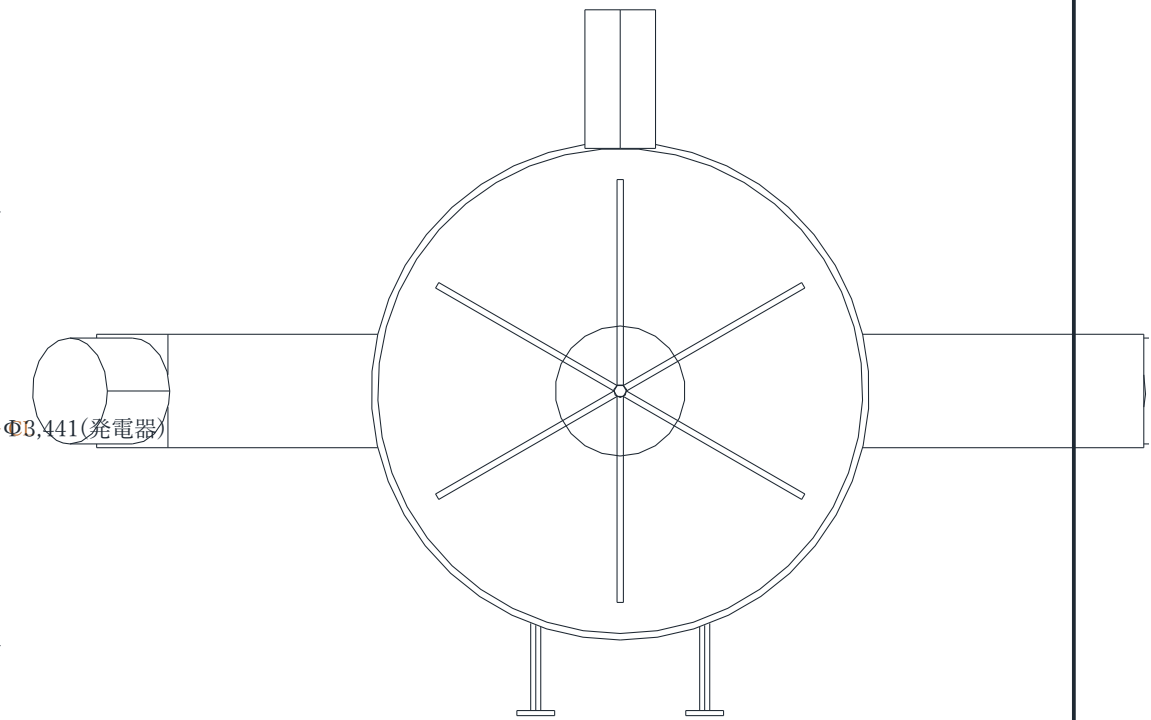


火星

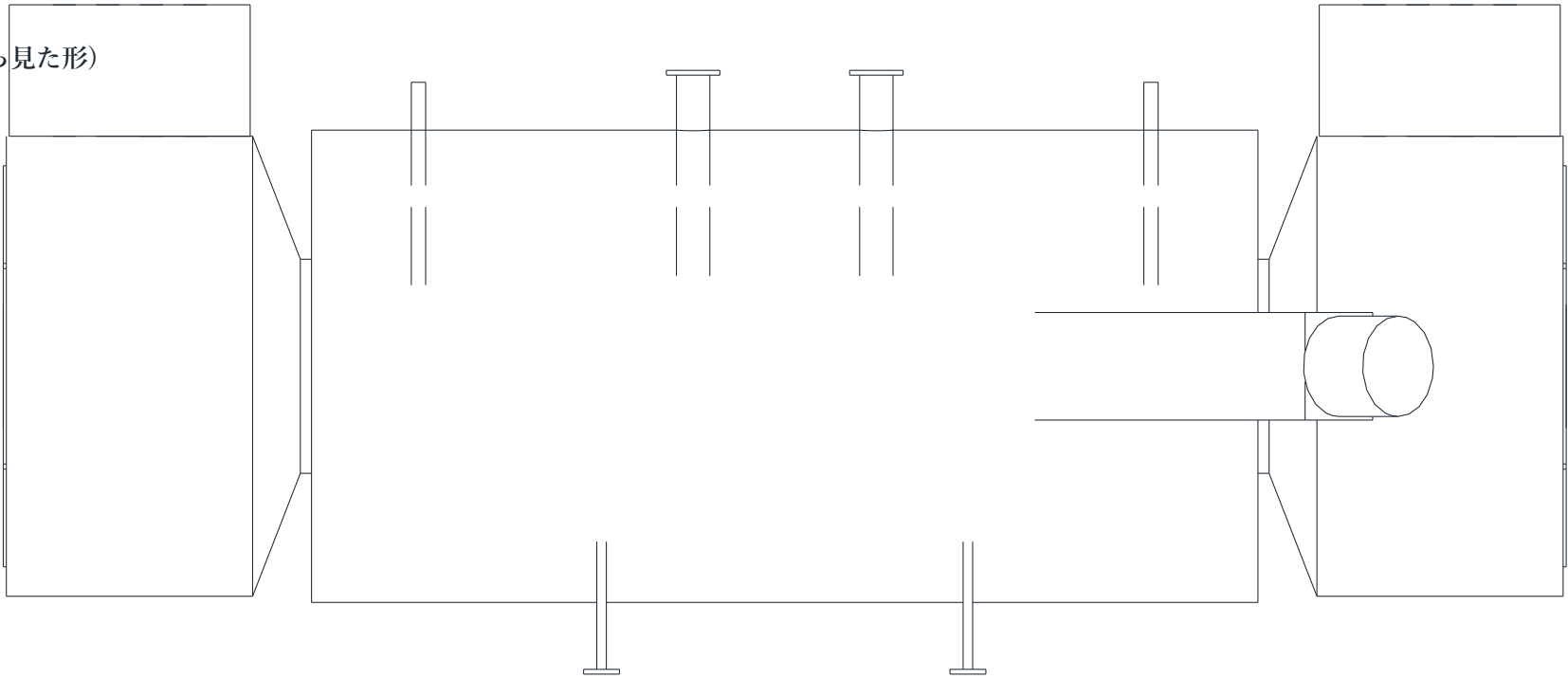
断面 A-A(y = 0 で切る)



端面図(軸の方向から)



側面図(外から見た形)



支柱 Φ180 × 32 本(ピッチ円 Φ3,080)

おもな寸法と値(計算から)

燃料	D-D(重水素だけ)
中央のコイル	R1,411 ・ 1.29 MA × 3
端のコイル	R1,150 ・ 7.72 MA × 2
導体表面の最大磁場	16.6 T
ケースの厚み(中央/端)	15 / 43
プラズマ	Φ1,234 × 6,901 ・ ミラー比 3.76
コイル同士の力(最大)	4.06 MN
真空	ポンプ 10 台

注記 1. 概念設計。プラズマの安定性・出力・材料寿命は見えていない。核融合の出力 30 MW は大きさを比べる物差し。
2. 同じ芯(5コイルのミラー)に環境の条件だけを入れた設計。寸法は計算の結果、図形は FreeCAD の CAD モデルの投影と断面。
3. 断面 A-A の色: 銅=超電導コイル、灰=ケース、斜線(灰)=遮蔽、斜線(緑)=増殖層、紺=真空容器、淡橙=プラズマ(境界の磁力線)。

火星 — 炉の芯 断面図・端面図・側面図

縮尺 1:60

火星の中緯度・地下水のある所(仮置き)

単位 mm / 2026-10-31

合同会社J-Catalyst / FreeCAD 1.1 + Python(LUNAR FUSION COIL LAB)

図番 LF-MARS-01